

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 305 2023年3月6日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

市民が安心して通行できる歩道を

3月3日 予算特別委員会 建設局等 村上ひとし委員

厚別区の山本地区で痛ましい交通事故が発生したことを受けて、山本通拡幅整備事業が行われることになりました。その計画について村上市議が質問をしました。

村上市議は「全体の事業概要と跨線橋部分の工事スケジュールはどのようになっているのか」と質問。市の担当者は「全ての工事の完了は令和15年度を予定。工期の短縮も検討しながら進めます」と長期の工事になることが明らかになりました。これを受けて同市議は「工事中の昇降階段が使用できない期間については、仮設の階段を設けるなど、利用者への配慮が必要。どのような対応を考えているのか」と質問。市の担当者は「暫定的に別の場所に仮設の階段、仮設の昇降施設がつかれないか、令和5年度に検討を行う予定」と今後の見通しを明らかにしました。

また同市議は「山本跨線橋下の横断歩道で発生した事故状況を受け、信号機の設置を求める市民の意見要望に対して、市としてどのように対応するのか」と質問。市の担当者は「信号機の設置について、交通管理者である厚別署に相談しているところですが現状では難しいと伺っている」と後ろ向きの答弁。

最後に村上市議は「予算もつけてやるということだが、抜本的な対策としては、鉄北線を横断しない、そして住宅内のある北側から昇降階段を利用できるということ。住民とりわけ子どもたちにとっては何よりの安全対策になる」と強く求めました。

藻岩山スキー場の市民ロッジ改修を

3月3日 予算特別委員会 建設局等 千葉なおこ委員

子ども達のスキー学習や幅広い層の市民が利用し、近年観光客からの期待度も高い藻岩山スキー場の市民ロッジが老朽化していることを受けて、千葉議員が質問に立ちました。

千葉市議は「市民などの利用者からは市民ロッジに対してのどのような意見や希望があるのか、老朽化していることから利用者の安全性、利便性など、どのような検討や修繕を行ってきたのか、また行っていく予定なのか」と質問。市の担当者は「トイレの広さや数などについては不満との意見。安全性と利便性に関する検討内容では、市民ロッジが現行の建築基準に合致しない、既存不適格となっている。今後、建て替えや改築の検討が必要な状況であると考えている」と老朽化している現状を認識している答弁しました。同市議はこの答弁を受けて、「今後関係者でスキー場全体の意見交換を行っていくということだが、所有者である本市が立て替えるべきと考えておりますがいかがか」と質問。市の担当者は「藻岩山スキー場は施設の運営者と所有者が異なり複雑。スキー場全体の一体運営も含めた今後のあり方を見据える必要がある。建て替え主体についても札幌市に限らず幅広く検討してまいりたい」と市が建て替える事には後ろ向きの答弁でした。

最後に千葉市議は「藻岩山スキー場は、築年数30年と経過しているので、こうした更新も急がれている。協議中の段階ではあってもまずは利用者の安全第一を考えて行かなくてはいけない。今後も長く愛される藻岩山スキー場の魅力アップに向けて取り組んでいただきたい」と求めました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。